■令和５年度報告の要点

2023 年度は、新型コロナウイルスの影響が続く中、JAGAT は通常業務への回帰を重要視した。収束時期は不明ながら、2022 年度予算をベースにし、修正を行いながら活動を行った。新型コロナは印刷業界には特に大きなダメージを与え、生成 AI ショックと合わせ、印刷業界にも大きなインパクトを与えたが、JAGAT イベントは「with コロナ」の視点でリアルとオンラインの組み合わせを検討した。JAGAT 大会は Hybrid で開催し、手探りではあったが成功だったと考えられる。JAGAT 近畿大会は、関西地区会員の要望を受け、リアル開催で実施した。基調講演は「生成 AI」を前面に出して行った。page2024 展は、制限が撤廃されて初の展示会だったが、集客数も前回比 125%強と増えて、久々に活気溢れる page が戻ってきたと言える。連携 Zone やミニセミナー会場も大成功だったと言える。

・2023年度通期予算：収入300,000千円 ／支出298,000千円／差益2,000千円

・収支実績

収入297,004千円（予算比99.0%、前年比100.6%）
支出303,885千円（予算比101.9%、前年比99.2%）
差益 △6,881千円（予算差△8,881千円、前年差+3,989千円）

・会員数の増減

会員数：633社（内訳＝正会員：620社／団体会員：5団体／賛助会員：8社　2月末日）
内　訳：入会4社（目標10社、昨年実績3社）／退会29社（予測10社、昨年度実績30社）

・『JAGAT info』の刊行（年12回）

・『全国印刷会社のフリーペーパー調査』を実施
印刷総合研究会での報告会開催（6/29）、集計・分析・調査結果のフィードバック(9/1調査開始)。

・『印刷産業経営動向調査2023』印刷経営に関する調査を実施。
報告書は今年度より『印刷マネジメントブック2023』と改題し、10/4刊行。

・『印刷白書2023』の刊行（10/31刊行）
印刷業界唯一の白書として、年間の研究調査活動を集大成して制作。誌面をカラー化した。

・DTPエキスパート認証試験は、2024年3月実施第61期試験から、本試験・学科CBTを導入(公式発表10/13）。3月8日（金）・3月9日（土）の2日間にて試験実施。

・『DTPエキスパート受験サポートガイド』をCBT化に向けて、受験案内その他誤植修正、用語統一など修正し、10版第2刷発行（1月）。

・通信教育は「新入社員コース」をテキスト＋動画のカリキュラムにリニューアル。
副教材動画は、"JAGAT_イベント・セミナーチャンネル"に移行し、拡充をはかる。

・セミナーは、大型講座の「工場長養成講座」や新入社員研修の学び放題、印刷技術基本講座のオンデマンド動画、講師派遣研修、生産性向上訓練が売り上げ及び利益に大きく貢献し本社、地方セミナーはトータルで予算計画を上回る結果となった。

・page2024 は「連携」をテーマに、リアル展示会を開催(2/14～16)。オンライン配信によるカンファレンス・セミナー (2/5～13)を実施した。

・職員の人員数

2023年度末　常勤役員2名、正規職員11名、非正規職員11名、計24名
2022年度末　常勤役員2名、正規職員12名、非正規職員10名、計24名
2021年度末　常勤役員2名、正規職員14名、非正規職員9名、 計25名

■研究調査部

●部門方針

印刷の普及・振興・発展を視野に、印刷全般の研究と会員への印刷情報の発信を通して、広く印刷ビジネスの成長に貢献すべく研究調査活動を展開する。研究調査領域は、①技術②メディア③市場から構成して印刷全般をカバー、研究調査の成果は会員への情報発信を通して、広く業界全般に届ける。

毎月の研究調査の成果は、機関誌『JAGAT info』を通して会員に届ける。年間の研究調査の成果は『印刷白書』に集大成する。会員への情報は、月例研究会、会員大会、page カンファレンス等、オンラインも含めた様々な機会を通じて発信する。

デジタルメディアの加速度的な普及とコロナ禍による価値観の変化に伴い、印刷会社はより広い事業領域への対応を求められるようになっている。そこで、2023 年度の重点テーマは after コロナ時代の創注を見据えた「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「見える化」「サステナビリティ」とする。

当会指導により厚生労働省令の母子健康手帳に採用された「便色カード」サポートの普及啓発活動、大学等での講師活動、印刷会社が発行主体のフリーペーパー調査など、公益法人として積極的な印刷メディアの普及振興活動を継続する。資格試験制度は運営の最適化に向けた見直しを続ける。

●計画の要点・重点目標

・研究会活動は after コロナ時代のニューノーマルを見据えた「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「見える化」「サステナビリティ」を共通の重点とした研究調査とミーティングを企画、展開して情報発信する。
・特に以下を重点的な研究調査分野と位置づける。
　① マーケティング
　② デジタル印刷
　③ クロスメディア
　④ 見える化
　⑤ サステナビリティ（地域活性化・DX・SDGs・CSV）

・印刷関連団体（日本印刷産業連合会・全日本印刷工業組合連合会等）への協力。
・『印刷産業経営動向調査』『デジタル印刷レポート』『印刷業毎月観測アンケート』「カラーマネジメント技術サポート」など、従来の研究調査・コンサルティングを継続する。
・資格試験では、2 段階制に移行した DTP エキスパートの認知度向上を図るとともに、より受験しやすい制度に近づける検討を続ける。

◆研究会

●テキスト＆グラフィックス領域
●クロスメディア領域
●印刷マーケット領域

研究領域

1. テキスト＆グラフィックス領域
　テキスト・組版、グラフィックス・画像に関する技術を基本的な主要研究テーマとし、関連生産技術分野も含めて研究領域とする。印刷・出版分野にとどまらない幅広いテキスト・グラフィックス関連情報を技術視点から研究調査、最新情報を収集・分析・発信する。

2. クロスメディア領域
印刷メディアからデジタルメディアへの横断的な情報コミュニケーション分野全般に関する関連先進技術の動向を基本的な研究領域とする。デジタル技術革新の印刷業界への影響、デジタルと紙を最大効率で組合せて活用するクロスメディア技術の手法について分析する。

3. 印刷マーケット領域
印刷産業・印刷市場・印刷経営・印刷メディア・印刷サステナビリティの5視点から、印刷ビジネスの現状と可能性を客観的に捉える。印刷会社と印刷メディアの持続可能性に資するべく、情報を収集・分析・発信する。

重点テーマ

1. テキスト＆グラフィックス領域
デジタル技術によって進化する印刷制作・生産の近未来、デジタル印刷関連の新技術、ロボット化など自動化動向を中心に、カラーマネジメントの動向なども含め、制作環境・印刷生産・工場運営の変化に伴って生まれる技術の評価と応用の可能性について探る。

2. クロスメディア領域
デジタルメディアの印刷ビジネスへの応用、デジタルメディアと印刷メディアの組み合わせによる相乗効果の追求、5GやAIなどの技術革新が印刷メディアビジネスに与える影響について重点にする。

3. 印刷マーケット領域
デジタル時代の印刷会社・印刷メディアの可能性及び、with/afterコロナ時代の印刷ビジネスモデルの構築に重点を置く。印刷会社の経営資源を活用した地域社会の活性化による共生および、デジタルトランスフォーメーションへの対応についてもテーマとする。

*研究会開催実績と計画（テーマとスピーカー）
●テキスト＆グラフィックス領域／クロスメディア領域／印刷マーケット領域

① 2023年度上半期実績

4月25日　映像コンテンツと印刷ビジネス
ジュリアジャパン
戸山泰斗氏（サムシングファン）
石井陽太氏（東洋美術印刷）

4月26日　流通小売業マーケティングの現状と課題
ーコロナ後の店舗プロモーションと折込チラシー
鈴木雄高氏（流通経済研究所）
河野大児郎氏（読売ＩＳ）
山岸祥晃（凸版印刷）
藤井建人（JAGAT）

6月6日　JDF仕様解説とワークフロー
本田雄也氏（ハイデルベルグ・ジャパン）
伊藤祐哉氏（ハイデルベルグ・ジャパン）
白木由莉氏（ハイデルベルグ・ジャパン）
花房賢（JAGAT）

7月20日　フリーペーパーの最新動向と事例2023
ー広告と発行体制、「前橋新聞めぶく」の創刊事例からー
森永陸一郎氏（電通　電通メディアイノベーションラボ）
阿部和也氏（ぐんま瓦版　前橋新聞me bu ku）
藤井建人（JAGAT）

7月25日　進化する印刷オートメーション
ーTシャツプリントの受注・製造・出荷システムと転写シートプリンターー
山川誠氏（イメージ・マジック）
郡司秀明（JAGAT）
笹沼信篤（JAGAT）

8月29日　次世代デジタル印刷ワークフローを考える
ーJAGAT info デジタル印刷移行とRGB混在型PDF入稿ー
山本久喜氏（東洋美術印刷）
伊藤俊文氏（キヤノンマーケティングジャパン）
伊藤弘二氏（SCREEN GP ジャパン）
郡司秀明（JAGAT）
庄司正幸（JAGAT）
笹沼信篤（JAGAT）

9月28日　最新調査から紐解く印刷経営戦略
ー業績・戦略・投資・需要の4視点から捉える現在と方向ー
藤井建人（JAGAT）

② 2023年度下半期実績

10月3日　カーボンニュートラルに向けた印刷会社の環境対応
森浩二氏（日本印刷産業連合会）
千葉達也氏（光陽社）
佐々木 雅規氏（日本サステナブル印刷協会）
山本徳太郎氏（CEX）

10月20日　JAGAT大会2023 リアル＆オンライン
―未来への連携構築に向けて―
秋葉弘道氏（アキダイ）
伊藤弘二氏（SCREEN GP ジャパン）
伊藤俊文氏（キヤノンマーケティングジャパン）
小野寺徹氏（富士フイルムビジネスイノベーション）
坂入陽子氏（コニカミノルタジャパン）
早川真一郎氏（リコージャパン）
塚田司郎（JAGAT）
網野勝彦（JAGAT）
郡司秀明（JAGAT）
藤井建人（JAGAT）

11月21日　『印刷白書2023』発刊記念セミナー
郡司秀明（JAGAT）
藤井建人（JAGAT）
花房賢（JAGAT）
吉村マチ子（JAGAT）
11月28日　SPビジネスと大判プリンターの動向

山崎大夢氏（エプソン販売）
花摘孝明氏（エコスリージャパン）
原田智充氏（ミマキエンジニアリング）

12月5日　生成AIと印刷・デザイン
境祐司氏（Adobe コミュニティエバンジェリスト）
樋口泰行氏（樋口デザイン事務所）

12月15日　デジタル印刷とRGB混在型入稿の実践
出口慶氏（日本HP）
田村真郎氏（東洋美術印刷）
藤城滉朗氏（東洋美術印刷）
庄司正幸（JAGAT客員研究員）
笹沼信篤（JAGAT特別研究員）

3月5日　page2024から読み解く印刷の未来
宮本泰夫氏（バリューマシーンインターナショナル）
影山史枝氏（スイッチ）
郡司秀明（JAGAT）
笹沼信篤（JAGAT）

3月27日　メディアの最新動向～物流2024年問題への対応～
北原利行氏（電通メディアイノベーションラボ）
三浦千宗氏（日本通信販売協会）
藤井建人（JAGAT）

◆研究調査事業

●月刊誌『JAGAT info』の発行（年12回）
・毎号の連載では、「デジタル印刷最前線」「デジ印奏論」「技術トレンド：グラフィックス」「Education」「経営ウォッチング」「マーケティング情報」「キーワード」「ワールド・プリント・サテライト」など印刷産業の周辺関連情報を広く提供する。
・特集と不定期連載では、5号にわたって掲載する『印刷産業経営動向調査（業績編・戦略編・新技術サービス編・設備編・需要編）』のほか、「Recreating the Future」「マーケティング・ナウ」「デザイン・トレンド」など、技術・教育・メディア・経営・海外など多面的な視点からタイムリーなトピックを取り上げる。

●『印刷白書2023』（10月31日刊行）
・印刷業界唯一の白書として、年間の研究調査活動を集大成して制作する。
・誌面をカラー化した。

●『デジタル印刷レポート2023』
・各地のデジタル印刷事例を訪問調査する。

●第45回『印刷産業経営動向調査2023』
・調査の設計と実施（2～5月）
・調査結果の集計・分析（5～9月）
・分析レポートのJAGAT infoへの掲載（7～11月号）
・回答社への分析結果フィードバック（9月22日）
・報告会（9月28日）
・報告書『印刷マネジメントブック2023』の制作・刊行（10月4日）

●『印刷業毎月観測アンケート』
・業況に関する調査・集計・分析・調査結果のフィードバックとJAGAT infoへの掲載

●『印刷会社のフリーペーパー調査』
・調査・集計・分析
・印刷総合研究会での報告会セミナー（7月20日）
・調査結果のフィードバック（8月17日）
・『page2024』会場での作品展示を通した印刷物の普及啓蒙活動（2月14～16日）

●地域活性ビジネス事例調査
・実地調査とレポート作成
・JAGAT infoへの掲載

●印刷関連団体への協力・委員派遣
・日本印刷産業連合会
・全日本印刷工業組合連合会
・東京都印刷工業組合等
・日本印刷学会
・日本写真学会
・日本出版学会
・一般財団法人経済調査会

●印刷振興のための講師派遣・講座開発提供
・日本大学
・法政大学
・群馬大学

●印刷会社の見える化
・印刷会社の経営改善に向けた啓発、支援、組織化、コンサルティング等

●トピック技術セミナー
・2023 年の印刷関連注目技術を集約して 2024 年 3 月 19 日開催予定

●page2024 カンファレンス
・基調講演と以下の 6 つのセッションを開催した。

【基調講演】印刷ビジネスがサスティナブルであり続けるためには
塚田 司郎（錦明印刷株式会社）
網野 勝彦（株式会社研文社）
郡司 秀明（JAGAT）

【C1】2024 年の印刷ビジネス展望　～事業創造の経営に向けて
藤井 建人（JAGAT）

【C2】会社を伸ばす経営指標の見方（ファイナンス基礎）
～藤井式 KPI メソッドと印刷経営者の実際
河内 克之（真生印刷株式会社）
藤井 建人（JAGAT）

【C3】成長戦略を描く　～事業承継と事業創造
北田 浩之（株式会社CCG HOLDINGS）
松岡 真一郎（株式会社アサプリホールディングス）
鎌田 貴雅（株式会社さくら印刷）
花房 賢（JAGAT）

【C4】印刷に新しい価値を吹き込むオンデマンドサービス
大洞 広和（大洞印刷株式会社）
高本 禎郎（株式会社TOWA）
花房 賢（JAGAT）

【C5】次世代ワークフロー 結論編（RGB+CMYK混在入稿）
山本 久喜（東洋美術印刷株式会社）
久保 昌彦（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社）
出口 慶（株式会社日本HP）
庄司 正幸（JAGAT）
笹沼 信篤（JAGAT）
郡司 秀明（JAGAT）

【C6】生成AIと印刷・デザインの未来
境 祐司（Adobe Community Evangelist）
和田 剛（大日本印刷株式会社）
千葉 弘幸（JAGAT）

●印刷標準・カラーマネジメントサポート
・印刷会社及び印刷発注者への助言とコンサルティング

●新生児向け予防医療支援「便色カード」
・カラーマネジメント技術を提供して母子健康手帳「便色カード」制作を全面支援

●XMLパブリッシング準研究会の開催
・XML技術による編集組版・オンデマンド出版・電子書籍をテーマとする研究会の運営

●コンサルティング（適宜）
・カラーマネジメント分野
・クロスメディア分野
・企業経営・事業創造分野
・その他

◆資格制度

【上半期報告】

本試験実績

申請区分	申請者（人）	前年同期比
マイスター	92	89.3%
エキスパート	116	84.1%
アップグレード	13	52.0%
合計	221	83.1%

更新試験実績

更新対象者（人）	申請者（人）	申請率
1,666	1,402	84.2%

- 団体受験者数は昨年同水準だが、取組み社数は（35 社）と前期（29 社）よりも増加。
- 職種は営業職が減少傾向、デザイン職が増加傾向。
- 更新申請率は 80%台半ばで推移。有資格者数の維持は引き続き主要な課題。
- DTP エキスパート問題作成委員会
  ・第 60 期試験問題項目について協議（5/31）
- セミナー開催
  ・学科基本知識講座をオンライン開催（7/21）
  ・企業向け受験対策講座をリアル開催（7/31）
  ・実技解説および課題添削講座をオンデマンド開催

- 教材制作
  ・第 60 期模擬試験問題を制作（6 月）
  ・DTP エキスパート受験サポートガイド改定第 10 版を刊行（7 月）
- 第 60 期試験
  ・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌、および指定講座会場で開催（8/27）
- 更新試験
  ・オンライン開催（9 月）
- DTP エキスパート認証委員会にて CBT 移行について報告、承認（9/28）

【下半期報告】
- 2024 年 3 月実施第 61 期試験から、本試験・学科 CBT を導入。
  ・本試験学科 CBT 移行について公式発表（10/13）
  ・全国約 360 ヵ所の CBT 会場と提携する運用事業者と契約。試験申し込みから会場予約、採点も含めた試験システムの要件定義を行い、3 月 8 日（金）・3 月 9 日（土）の 2 日間にて試験実施。
  ・一斉試験から日時選択試験への変更に伴い、試験としての厳格性を担保するため、複数パターンの問題から同程度の難易度でランダム出題を行えるよう問題および出題レギュレーションを整備。

本試験実績

申請区分	申請者（人）	前年同期比
マイスター	39	130.0%
エキスパート	83	90.2%
アップグレード	8	44.4%
合計	130	92.9%

CBT 方式試験移行後概況
  ・CBT 化に際して受験申請フローを完全 DX 化（申請、決済照合など）したが、事務局への問い合わせは少なく、ユーザーは手続き変更に対するハードルを感じていないことが伺われる。
  ・申請傾向としては、これまでは 6 大都市会場に出向いていた都道府県の受験者が地元で受験している傾向。利便性向上につながっていることは確かだが、今後受験者拡大に向けてはこれまで受験者が少なかった都道府県の印刷会社への訴求を高める必要がある。

- 更新試験
  ・2024 年 4 月実施更新試験
  更新申請（見込み）

更新対象者（人）	申請者（人）	申請率
1095	929	84.8%

- 教材制作
  ・第 61 期模擬試験問題（2023 年 12 月発売）

- セミナー
  ・学科基本知識講座（2024 年 1 月オンデマンド配信開始）
  ・実技解説講座（随時オンデマンド配信）

- 他団体への協力
  ・アビリンピック東京大会 DTP 競技委員（2024 年 2 月 18 日実施）

■CS 部

●部門方針

・page2024 展示会はリアル開催に向けて計画していく。来場者が安心安全に来場できる環境づくりと、印刷業界の最新トレンド情報を得やすい出展ブース、イベントを企画を行うことで来場者増を図っていく。

・教育サービスは、各社の教育計画／教育体系づくりを支援しつつ、セミナー、通信教育、コンサルティング、書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施をニーズに応えるようタイムリーに効率よく実行していく。

・公益法人として、印刷および関連企業は勿論、クライアント（印刷発注側企業）の課題解決も視野に入れたメディアづくりなど、JAGAT ならではの企画、コンテンツにより、他との差別化、付加価値向上を目指す。

●計画の要点・重点目標

・page は総力を上げてリアル展の開催に向けて計画していく。コロナ禍でスポンサー企業の広告投資についてより費用対効果が求められることを考慮し、宣伝効果の高い page 展の企画の充実化に注力する。

・教育商品の主体であるセミナーは、オンラインライブ配信セミナーの開催に加え、いつでも繰り返し学習ができるオンデマンドセミナーの拡充も計画する。全都道府県の印刷関連企業が受講しやすい環境と機会をつくる。

◆会　員

会員メリットの高い大型セミナーや page 出展等を訴求していくことで、会員拡大を図る。

***計　画**

入会 10 社（再入会 2 社）：page6 社、セミナー2 社、西部支社・その他 2 社

【通期報告】
・2023 年度入会実績 4 社（目標 10 社、2022 年度実績 3 社）
・退会は上期 15 社、下期 14 社、合計 29 社で想定より大きく上回る。
・退会数は昨年度より 1 社減少したものの入会が想定を下回り、結果として会員数は期首より 25 社減で、減少傾向は続いている。

●会員状況・会員数
2024 年 2 月末における会員数は以下の通り。
会員数：633 社（内訳＝正会員：620 社／団体会員：5 団体／賛助会員：8 社）

●入退会状況

＜入会＞　・上半期 2 社（昨年度実績 2 社）　※上期目標 5 社

入会	会員 NO.	社　名	口数	地区	備　考
4 月	4054	(株)眞興社	2	東京(渋谷)	再入会
8 月	4055	朝日印刷工業(株)	2	群馬	再入会

・下半期 2 社（昨年度実績 1 社）　※下期目標 5 社　・

入会	会員 NO.	社　名	口数	地区	備　考
10 月	4056	(株)明友社	2	東京(新宿)	新入会
2 月	4057	ピツニーボウズジャパン(株)	2	東京(品川)	新入会

＜退会＞　・上半期 15 社（昨年度実績 16 社）　※上半期退会予測 10 社

会員 NO.	社名	地区	理由
0459	精美堂印刷(株)	長野	廃業
1219	(株)プラルト	長野	諸般の事情
1389	日本製紙(株)	東京(北)	諸般の事情
1403	田宮印刷(株)	山形	経費節減
1458	(株)創文	東京(中央)	諸般の事情
1732	(株)YUIDEA	東京(文京)	諸般の事情
1770	南海印刷(株)	大阪	諸般の事情
1926	高橋印刷(株)	宮城	廃業
2066	(株)荒川印刷	愛知	経費節減
2139	(株)協進印刷	東京(世田谷)	諸般の事情
2509	アールプロセス(株)	東京(板橋)	諸般の事情
2696	(株)杉田プリディア	大阪	印刷から撤退
4007	(株)アントアント	京都	諸般の事情
4044	グラドコジャパン(株)	東京(町田市)	諸般の事情
4050	(株)TBM	東京(千代田)	諸般の事情

・下半期 14 社（昨年度実績 14 社）　※上半期退会予測 10 社

会員 NO.	社名	地区	理由
0410	(株)高山活版社	大分	経費削減
0479	野崎印刷(株)	新潟	破産
0849	藤倉コンポジット(株)	東京(江東)	ブランケット事業撤退
1202	コニカミノルタ日本文化精工(株)	東京(目黒)	コニカミノルタへの事業譲渡のため
1375	金山印刷(株)	東京(中央)	印刷事業撤退
1418	(株)日本制作センター	東京(都下)	破産
1648	(株)東海共同印刷	愛知	経費削減
1659	(株)日本印刷新聞社	東京(中央)	破産
1731	(株)耕文社	静岡	破産
1982	斯文堂(株)	鹿児島	諸般の事情
2207	宮嶋印刷(株)	東京(千代田)	諸般の事情
2602	(株)真和	香川	破産
2658	(株)Taisei	広島	諸般の事情
2953	情報印刷(株)	神奈川	経費削減

◆交流イベント／サービス

●JAGAT大会

会員大会＝JAGAT 大会 2023 は、コロナの状況、会員の利便性等を鑑みながら、開催方式をリアルあるいはオンラインの方向性を模索する。（リアル開催の場合は、『印刷白書 2023』発表の場とする。）

【通期報告】
・10 月 20 日（金）に「JAGAT 大会 2023」を 4 年ぶりにリアル開催として、日本印刷技術協会本社で実施、同時にオンライン配信。

＜内容＞
基調講演：地域密着で勝つ地場スーパーの経営術！（スーパーアキダイ秋葉社長）
研究発表：JAGAT 研究調査データの読み方使い方
ディスカッション：「印刷メディアの未来　印刷物がサステナブルであり続けるには？」

＜参加者＞リアル参加：48 名　オンライン参加：81 名

●JAGAT地域大会（JUMP）

地域大会＝JAGAT 地域大会は、JAGAT 近畿大会はリアル開催を予定、他の地域は JAGAT 大会 2023 オンラインと集約する形で計画。

「JAGAT 近畿大会」
11 月 24 日（金）、ホテルモントレ ラ・スール大阪で、4 年ぶりにリアルで開催した。
デジタル技術（AI）をテーマに、講演会＋情報交換会（懇親パーティー）を行い、77 名が参加した。

◆page／イベント

2023 年度は IGAS2022 と drupa2024 の開催年度の狭間にあたり、機器メーカーなどの PR の機会は例年よりも少なくなることが予想される。それとともに来場者にとっても、複数の大型イベントが連続して実施されることによる「展示会疲れ」は無くなり、来場も見込める。page2024 をしっかりと実施することで、出展企業と来場者双方にメリットがあり、印刷業界の活性化させるイベントを構築していく。

***計　画**
展示小間数　500 小間以上　（出展社　概ね 120 社以上）

page2024 においてはリアル展示会の規模や盛り上がりをコロナ前の状況に極力戻すべく、通期での事業展開を図り、JAGAT のあらゆる事業と page2024 の浸透・PR を結び付けて、JAGAT への入会促進を行うとともに、収益事業として予算達成を目指す。さらに来場者目線に立ったクオリティアップを行い、イベントの価値向上によって業界全体の活性化に寄与すべく、様々な企画を検討する。

【通期報告】
・page2024 リアル展示会　＊テーマ：「連携」

出展実績：148 社 447 小間（前回 122 社 423 小間）
来場者数：21,580 人（受付通過者人数、前回は 17,070 人）
⇒収入実績は計画比 98.8%、前回比 103.4%

◆広　告

昨年度の JAGATinfo カラー化に伴う、広告プログラムの変更により、一定数の新規広告出稿の獲得は出来た。しかし広告出稿は通年での計画であるため、年度途中の変更に対応できない企業は多かった。今年度は、スポンサー企業の広告予算の見直しは十二分に予想されるが、JAGATinfo のメディアとしての価値を見直し、出稿強化を図る。また昨年度、page2023 における出展企業の小間減に伴い、広告売上は減少したが、メルマガ広告やセミナー集客運営サポートといった新たな企業支援による発注を行う

【通期報告】
・Ji 誌：定期広告（54 本）／企画広告（3 本）

◆通信教育

JAGAT の通信教育は、唯一業界に特化した講座を提供できるという強みをもつ。特定時間の拘束や場所・距離といった制約を受けないというメリットとともに、これを広くアピールしていく。中堅規模の企業開拓、そのための内定者教育としての「新入社員コース」のプロモーションや短期受講型の新講座開発、セミナーとの連携を図る。

***計　画**

JAGAT：14 講座+受託販売講座：22 講座　600 名受講
・「新入社員コース」をテキスト＋動画のカリキュラムにリニューアル。セミナーと新人向け学び放題講座と連携して販売の拡充を図る
・「印刷技術・基本コース」のフォローアップ教育としての提案
・既存大口受注企業の継続受注。
・企業の教育体系の構築によるセミナーと合わせて受注。

【通期報告】
・「カラーマネジメント基礎と実務」増刷：テキスト・課題修正
・「印刷技術・基本」「印刷技術キホンのキ」テキスト改訂（『みんなの印刷入門 10 版』）→課題および解説の改訂
・「製本加工の知識と管理」増刷
・「新入社員コース」増刷（400 セット）･･･テキスト・課題・副教材アップデート
副教材動画→"JAGAT_イベント・セミナーチャンネル"に移行（新規 URL、QR コード）
・主な PR 関連：新入社員フォロー教育「印刷技術・基本コース」のすすめ
通教で学べる製本加工の基礎「知っておきたい製本加工」のすすめ
人材開発支援助成金」通教活用調査→Web サイト、JI「Education」にて紹介
内定者向け「新入社員」Web 記事と連動させ PR
「DTP エキスパート基本知識」DTP エキスパート CBT 化告知とともに、企業受験企業、通教受講企業などに PR
・通信教育総合ガイド 2024：1500 部作成→会員企業、過去実績企業への案内（新入社員セミナー同封）

＜通期期実績＞

講座名	年間予算		年間実績		対予算	
	本数	売上金額	本数	売上金額	本数	売上金額
新入社員	310	5,797,000	279	4,971,230	−31	−825,770
よくわかる印刷技術･基本	75	1,402,500	57	1,164,900	−18	−237,600
DM チラシで実践するマーケティング	3	79,200	0	0	−3	−79,200
印刷営業の基本と実務	9	207,900	24	614,900	15	407,000
印刷技術者	13	343,200	12	316,800	−1	−26,400

印刷技術者/品質アップ	5	126,500	12	303,600	7	177,100
印刷現場の予防保全	3	79,200	2	52,800	−1	−26,400
印刷技術者/トラブル解決	7	177,100	14	354,200	7	177,100
DTP エキスパート基本知識講座	17	374,000	22	484,000	5	110,000
知っておきたい製本加工知識と管理	10	209,000	20	434,500	10	225,500
カラーマネジメント　基礎と実務	15	313,500	15	357,500	0	44,000
インパクトと共感をつかむ DM・チラシ企画提案実践講座	4	83,600	4	94,600	0	11,000
よくわかるレイアウトデザイン基本	12	158,400	21	321,200	9	162,800
コンペで勝てる印刷営業力を磨く	4	39,600	5	52,800	1	13,200
印刷技術「キホンのキ」	2	17,600	10	88,000	8	70,400
通信教育代理販売講座	8	91,300	12	123,750	4	32,450
コレクト手数料		0		0		0
その他（代理販売講座総合パンフ掲載料等）		0		34,485		34,485
合　計		9,500,000		9,769,265		269,265

◆刊行物

JAGAT の情報発信ツールとしてのパブリッシングを継続していく。
『みんなの印刷入門』『オフセット印刷技術』『トラブル解決』等の印刷業界基本図書のテキスト採用等による販売維持。受験促進も含め、主催資格の対策参考書の販売。『印刷白書』『経営動向調査』といったコアな統計情報、『デジタル印刷レポート』等各種レポート類の発行、拡販を通じて公益事業体としてのパブリッシング、コンテンツ発信に努める。

***計　画**

JAGAT 発行 15 点＋受託販売　合計 2,000 冊＋page 販売
・基本図書『みんなの印刷入門』及び『新版 DTP ベーシックガイダンス』のプロモーション
・『DTP エキスパート受験サポートガイド』受験促進に合わせた PR

【通期期報告】
・『新版 DTP ベーシックガイダンス』増刷：第 4 刷、700 部
・『DTP エキスパート受験サポートガイド』: カリキュラム 15 版対応版改訂 10 版発行（6 月）
受験案内（CBT 化）その他誤植修正、用語統一など修正し 10 版第 2 刷発行（1 月）
・テキスト採用スクール販促：『みんなの印刷入門』『DTP ベーシックガイダンス』PR
・page 書籍販売テーマ「連携」に連動し、セミナー講師著書、生成 AI 関連図書など受託先 5 社に拡大
・『みんなの印刷入門』11 版　800 冊（3 月）
・『DTP ベーシックガイダンス』新版第 5 刷　800 冊（3 月）

＜通期実績＞

		2023 年間予算		2023 年間実績		予実差	
No.	書籍名	冊数	売上	冊数	売上	冊数	売上
1	みんなの印刷入門	780	1,887,600	692	1,428,004	−88	−459,596
2	オフセット印刷技術　作業手順と知識	104	414,024	170	528,073	66	114,049
3	オフセット印刷技術　トラブル解決	47	147,721	69	163,975	22	16,254
4	オフセット印刷の変動要素 230	22	34,584	26	27,736	4	−6,848
5	製本加工ハンドブック　技術概論編	22	69,146	19	45,792	−3	−23,354
6	製本加工ハンドブック　ソリューション編	11	20,735	11	14,306	0	−6,429
7	製本加工ハンドブック　マネジメント編	10	15,720	5	5,707	−5	−10,013
8	印刷トップセールスマンの条件	7	18,333	3	7,857	−4	−10,476
9	改訂 DTP エキスパート受験サポートガイド	199	591,030	407	933,453	208	342,423
10	デジタルハンドブック	3	6,600	10	19,690	7	13,090
11	眼・色・光	50	104,800	55	88,286	5	−16,514
12	便覧　文字組みの基準	10	18,870	3	4,245	−7	−14,625
13	（受託）DTP&印刷しくみ事典	5	19,800	19	75,240	14	55,440

14	未来を創る—THIS POINT FORWARD	0	0	0	0	0	0
15	新版 DTP ベーシックガイダンス	659	1,594,780	770	1,466,035	111	−128,745
16	（受託）印刷料金 2023	44	165,968	59	222,548	15	56,580
17	その他	17	27,676	24	40,531	7	12,855
合　計		1,990	5,137,387	2,342	5,071,478	352	−65,909
展示会売上			450,000		259,233		−190,767
売上修正(内振)			267,652		269,346		1,694
送料売上			145,000		152,866		7,866
売上総合計			6,000,000		5,752,923		−247,077

◆セミナー事業

印刷技術から営業、マーケティング、デザインまで印刷業界に特化した内容でセミナーを展開していく。また、受講者の教育効果を追求するために、グループワークを取り入れての実践型セミナーも強化していく。

***計　画**

定期プログラム 45 講座を準備し年間 90 回開催、総受講者数 800 名を予定する。

・新入社員向け研修は 2022 年にリニューアルした、ライブ＆オンデマンドによるハイブリッド配信による学び放題サービスの販売拡大を図る
・大型ゼミの販売拡充（工場長養成講座、DM 企画制作講座）
・大型ゼミの新テーマ「印刷機長養成講座」の企画開発を行う
・全国都道府県の方の参加利便性を高めるため、オンラインライブ配信型セミナーにシフトする
・繰り返し学習できるオンデマンド配信セミナーを拡充する
・講師の発掘及び新規セミナーの開発
・生産性向上訓練の受託
・個別企業への講師派遣研修の拡充

【通期報告】

本社セミナー売上は 30,004 千円（対予算 120%）差益は 22,209 千円（対予算 139%）の結果となった。大型講座の「工場長養成講座」が最大募集人数まで集客ができたこと、新入社員研修の学び放題、印刷技術基本講座のオンデマンド動画、講師派遣研修、生産性向上訓練が売り上げ及び利益に大きく貢献し本社、地方セミナーはトータルで予算計画を上回る結果となった。

〔主力サービス〕

・「新入社員養成」「印刷製作入門」「職場コミュニケーション」「数字とコンプライアンス」の 4 講座をオンラインライブ配信＋オンデマンド（一部会場）で実施。学び放題は 4 講座セットのサービス。学び放題が対前年で＋18 名が売上を大きく押し上げる。
・印刷工場長養成講座（6 月開講）定員 10 社・・・・12 枠申込（4,510 千円）
・DM 企画制作実践講座（7 月開講）定員 8 社・・・・6 社申込（1,210 千円）
・印刷機長養成講座（8 月開講）定員 5 社・・・・3 社申込（1,100 千円）
・生産性向上訓練（12 講座受注／年）・・・・12 講座実施済（6,600 千円）
・オンデマンド配信講座（月 2 回開講）・・・・94 本申込（2,280 千円）
・講師派遣研修・・・7 社（2,257 千円）

■西部支社

***方　針⇒支社としての役割の充実**
・会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。
・印刷および関連団体との協力関係をより強化し、情報交換および人材育成の機会を創出する。

***通期報告**
・セミナー43 本（オンライン配信講座 21 本、個別研修 3 社、3 団体）開催、574 名受講。
・厚生労働省所管の生産性向上支援訓練 10 本開催。
・新型コロナウイルス感染防止のための対策実施およびオンライン配信の拡充。
・西部支社移転リニューアルに伴う多目的化および来客対応の改善、会場費削減。

【上半期報告】
・28 本（オンライン配信講座 14 本）開催、受講者 363 名、売上 8,162 千円。
・生産性向上支援訓練（2 日間）を 7 本実施。
・JP2023 展示会場内セミナーを 2 本実施。
・公立学校とのコラボレーション DTP 実践講座（神戸 2 日間）を実施。
・大阪印刷関連団体協議会主催セミナーを企画、運営。

【下半期計画】
・JAGAT 近畿大会（講演会＋情報交換会）を 4 年ぶりにリアル開催する。
・新たなテーマ、印刷業界に適した講師、講座を開発する。
・本社との連携を考慮のうえオンライン配信講座の充実を図る。
・西部支社から近畿地域への入会促進および各種情報発信を実施する。

■管理部

***計　画**
・老朽化する施設設備の適切なメンテナンス。
・インボイス制度・電子帳簿保存法への対応。
・遊休資産の適正な活用と社内環境整備。
・適正な人材補充。

【上半期報告】
・本館 1F 消防設備(煙感知器)の改修工事を実施（2023 年 6 月）。
・施設の老朽化に伴う修繕を実施（本館 3F 事務室及びテナントの空調修理）
・インボイス制度・電子帳簿保存法への対応準備。
・欠員に伴う人材補充(CS 部 2 名)

【下半期報告】
・インボイス制度（2023/10/1 開始）・電子帳簿保存法（2024/1/1 開始）の運用実施。
・施設貸与事業として、社会的有益事業へのセミナールームの貸出等検討。
・適正な人材確保のための人材募集活動。

■事業報告の附属明細書

2023 年度事業報告は本文にて事業等が詳細に説明され、したがって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。

2024（令和 6）年 5 月
公益社団法人 日本印刷技術協会